

令和 〇〇 年分収支内訳書 (農業所得用)

(あなたの本年分の農業所得の金額の計算内容をこの表に記載して確定申告書に添付してください。)

提出用

(令和二年分以降用)

この収支内訳書は機械で読み取りますので、黒のボールペンで書いてください。

住所	業種名	事務所所在地
	農園名	
フリガナ氏名	電話番号	氏名(名称)
		電話番号

令和 年 月 日

(自 〇〇 月 〇〇 日 至 〇〇 月 〇〇 日)

整理番号 〇〇〇〇〇〇〇〇

科目		金額 (円)	科目		金額 (円)
収入金額	販売金額 ①		経費	修繕費 ⑪	
	家事消費金額 ②			動力光熱費 ⑫	
	事業消費			作業用衣料費 ⑬	
	雑収入 ③			農業共済掛金 ⑭	
	小計 (①+②+③) ④			荷造運賃手数料 ⑮	
	農産物の期首 ⑤			土地改良費 ⑯	
	棚卸高 ⑥			その他 ⑰	
計 (④-⑤+⑥) ⑦		の ⑱			
経費	雇人費 ⑧			雑費 ㉑	
	小作料・賃借料 ⑨			農産物以外の期首 ㉒	
	減価償却費 ⑩			棚卸高 ㉓	
	貸倒金 ⑪			経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用 ㉔	
	利子割引料 ⑫			小計 (㉑-㉔までの計) ⑬	
	その他	租税公課 ㉕		経費計 (⑧-⑫までの計+⑬) ⑭	
		種苗費 ㉖		専従者控除前の所得金額 (⑦-⑭) ⑮	
		素畜費 ㉗		専従者控除 ⑯	
		肥料費 ㉘		所得金額 (⑮-⑯) ⑰	
		飼料費 ㉙		⑰のうち、肉用牛について特例の適用を受ける金額	
	その他	農具費 ㉚			
		農薬費 ㉛			
諸材料費 ㉜					

○雇人費の内訳

氏名・住所又は作業名	日数	現金	合計	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
		現物		
	延日	円	円	円
その他(人分)				
計			⑧	

○小作料・賃借料の内訳

支払先の住所・氏名	小作料、賃借料等の別	面積・数量	支払額
		a・kg	円

○事業専従者の氏名等

氏名 (年齢)	続柄	従事数
(歳)		月
(歳)		
(歳)		
(歳)		
延べ従事月数		

【税務署整理欄】

⑧ 〇〇〇〇〇〇〇〇

⑨ 〇〇〇〇〇〇〇〇

○収入金額の明細

(令和二年分以降用)	農産物等の種類品名等	作付面積 (飼育頭羽数)	販売金額 円	家事消費額 円	農産物の棚卸高				農産物等の種類品名等	作付面積 (飼育頭羽数)	販売金額 円	家事消費額 円	農産物の棚卸高			
					期首		期末						期首		期末	
					数量	金額	数量	金額					数量	金額	数量	金額
田		a	円	円	kg	円	kg	円	特殊施設	m ²	円	円	kg	円	kg	円
畑									農産物計 (A+B)	耕作面積 a				⑤		⑥
									畜産物その他	頭羽						
	④小計								合計 (A+B+C)		①	②				③

○減価償却費の計算

減価償却資産の名称等 (繰延資産を含む)	面積又は数量	取得(成熟)年月	①取得価額 (償却保証額) 円	②償却の基礎 になる金額 円	償却方法	耐用年数	③償却率 又は 改定償却率	④本年中の 償却期間 月	⑤本年分の 普通償却費 (③×④×①) 円	⑥特別 償却費 円	⑦本年分の 償却費合計 (⑤+⑥) 円	⑧事業専 用割合 %	⑨本年分の必要 経費算入額 (⑦×⑧) 円	⑩未償却残高 (期末残高) 円	摘要
		年月 ・	()	円		年		12		円	円		円	円	
		・	()					12							
		・	()					12							
		・	()					12							
		・	()					12							
計								12					⑩		

(注) 平成19年4月1日以後に取得した減価償却資産について定率法を採用する場合にのみ④欄のカッコ内に償却保証額を記入します。

○果樹・牛馬等の育成費用の計算 (販売用の牛馬、受託した牛馬は除きます。)

◎本年における特殊事情

果樹・牛馬等の名称	取得・生産・定植等の年月日	①前年から の繰越額 円	育成費用の明細				④本年に取得 価額に加算する 金額(②-③) 円	⑤本年中に成 熟したものの 取得価額 円	⑥翌年への 繰越額 (④+⑤-⑥) 円	⑦、⑧、⑨の 欄の金額の 計算方法	◎本年における特殊事情
			②本年中の 種苗費、種付 料、素畜費 円	③本年中の 肥料、農薬等 の投下費用 円	④小計 (②+③) 円	⑤育成中の果 樹等から生じ た収入金額 円					
		円	円	円	円	円	円	円			
計				⑦							

令和 00 年分収支内訳書（農業所得用）

あなたの本年分の農業所得の金額の計算内容をこの表に記載して確定申告書に添付してください。

控
用

記帳と帳簿書類の保存義務について

事業所得（農業所得）、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う方は、平成26年1月から、記帳と帳簿書類の保存が必要となりました。

- 帳簿を備え付けて、収入金額や必要経費について、取引の年月日や金額等を記帳しなければなりません。
- 帳簿や請求書・領収書などの書類を整理して保存しなければなりません。

住 所	業 種 名	依 頼 税 理 士 等	事 務 所 所 在 地
	農 園 名		氏 名 (名称)
フリガナ氏名	電 話 番 号		電 話 番 号

令和 年 月 日

(自 00 月 00 日 至 00 月 00 日)

整理番号 0000000000

○申告には、必ず提出用を使ってください。

科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
収入金額		経費	
販売金額 ①		修繕費 ⑰	
家事消費金額 ②		動力光熱費 ⑱	
事業消費		作業用衣料費 ⑲	
雑収入 ③		農業共済掛金 ㉑	
小計 (①+②+③) ④		荷造運賃手数料 ㉒	
農産物の期首 ⑤		土地改良費 ㉓	
棚卸高 期末 ⑥		その他 ㉔	
計 (④-⑤+⑥) ⑦		の ㉕	
雇人費 ⑧		経 ㉖	
小作料・賃借料 ⑨		費 ㉗	
減価償却費 ⑩		雑 費 ㉘	
貸倒金 ⑪		農産物 期首 ㉙	
利子割引料 ⑫		以外の 期末 ㉚	
租税公課 ㉛		棚卸高 経費から差し引く果樹 牛馬等の育成費用 ㉜	
種苗費 ㉜		小 計 (①-③までの計+⑤-⑥) ⑬	
素畜費 ㉝		経 費 計 (⑧-⑫までの計+⑬) ⑭	
他 肥料費 ㉞		専従者控除前の所得金額 (⑦-⑭) ⑮	
の 飼料費 ㉟		専従者控除 ⑯	
の 農具費 ㊱		所 得 金 額 (⑮-⑯) ⑰	
費 農薬費 ㊲		⑰のうち、肉用牛について 特例の適用を受ける金額	
諸材料費 ㊳			

○雇人費の内訳

氏名・住所又は作業名	日数 延日	現 金 物	合 計	所得税及び復興特別 所得税の源泉徴収税額
		円		
その他(人分)				
計			⑧	

○小作料・賃借料の内訳

支払先の住所・氏名	小作料、賃借料等の別	面積・数量	支払額
		a・kg	円

○事業専従者の氏名等

氏 名 (年齢)	続 柄	従 事 数 月
(歳)		
(歳)		
(歳)		
(歳)		
		延べ従事月数 00

整理番号

○収入金額の明細

農産物等の種類品名等	作付面積 (飼育 頭羽数)	販売金額	家事消費額	農産物の棚卸高				農産物等の種類品名等	作付面積 (飼育 頭羽数)	販売金額	家事消費額	農産物の棚卸高			
				期首		期末						期首		期末	
				数量	金額	数量	金額					数量	金額	数量	金額
	a	円	円	kg	円	kg	円		円	円	kg	円	kg	円	
田															
畑															
④ 小計									①	②				③	

○減価償却費の計算

減価償却資産の名称等 (繰延資産を含む)	面積 又は 数量	取得 (成熟) 年月	① 取得価額 (償却保証額)	② 償却の基礎 になる金額	償却 方法	耐用 年数	③ 償却率 又は 改定償却率	④ 本年中の 償却期間	⑤ 本年分の 普通償却費 (③×④×②)	⑥ 特別 償却費	⑦ 本年分の 償却費合計 (⑤+⑥)	⑧ 事業専 用割合	⑨ 本年分の必要 経費算入額 (⑦×⑧)	⑩ 未償却残高 (期末残高)	摘要
		年月 ・	() 円	円		年		— 12	円	円	円	%	円	円	
		・	()					— 12							
		・	()					— 12							
		・	()					— 12							
		・	()					— 12							
計								— 12					⑩		

(注) 平成19年4月1日以後に取得した減価償却資産について定率法を採用する場合にのみ④欄のカッコ内に償却保証額を記入します。

○果樹・牛馬等の育成費用の計算 (販売用の牛馬、受託した牛馬は除きます。)

◎本年における特殊事情

果樹・牛馬等の名称	取得・生産・定植等の年月日	① 前年から の繰越額	育成費用の明細				④ 本年中に成 熟したものの 取得価額	⑤ 翌年への 繰越額 (①+④-③)	⑥、⑦、⑧の 欄の金額の 計算方法
			② 本年中の 種苗費、種付 料、素畜費	③ 本年中の 肥料、農薬等 の投下費用	④ 小計 (②+③)	⑤ 育成中の果 樹等から生じ た収入金額			
		円	円	円	円	円	円	円	
計				⑦					

○この用紙は 控用 です。申告には、必ず 提出用 を使ってください。